

愛西市 6次産業化推進戦略



令和7年度～令和11年度

1. 6次産業化推進戦略策定の趣旨

現在、日本の農林水産業は、高齢化や担い手の減少、耕作放棄地の増加、国際的な競争激化、気候変動による異常気象等要因が重なり合い、多くの厳しい環境下に置かれています。

本市は、平成29年度に、地産地消を農業以外の他産業の活性化にも繋げ、市全体の活性化を図ることを目的として、「愛西市6次産業化推進戦略」を策定しました。

本計画は、「愛西市6次産業化推進戦略」を引き継ぎ、魅力ある農業が持続可能な農業発展と、地域の農産物に新たな付加価値を生み出す“攻めの農業”を確立することを目指し、「愛西市6次産業化推進戦略」を策定します。

2. 6次産業化についての現状と課題

本市は、愛知県北西部に位置し、気候は温暖で、木曾川の沖積層からなる濃尾平野の肥沃な土壌に恵まれており、水稻を主体とする農業生産が盛んです。また、市西部において生産されるれんこんは、一大産地として有名です。畜産は、地域の特性を生かして経営向上に努め、市北部では露地野菜を中心とした複合的経営もみられます。また、近年は農業経営のさらなる発展を図るため、一部の農家では施設園芸の導入も盛んになっています。

そうした中、本市においては、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（通称「6次産業化・地産地消法」）に基づく認定事業計画は、平成25年に認定された2件以降、認定されておられません。

しかし、認定を取らずに独自に加工品を製造している農林漁業者等もいるため、制度についての周知や希望者に対するサポートが今後重要になってくると同時に、新たに6次産業化の認定希望者が出ることも考えられます。

3. 取組方針

前記2の現状と課題を踏まえ、本市が6次産業化を推進していくためには、国や県が行う6次産業化関連施策等との連携が必要不可欠であり、一体となった取り組みが求められます。そのため、国や県、地域内外の情報を行政と関連団体、6次産業化に携わる主体等で情報共有できるネットワークの構築を行います。

また、意欲のある農林漁業者が個人で行う6次産業化への取り組みに対して

支援をする一方で、農林水産物をまとめた量で把握している生産部会や各種団体等が組織的に行う加工・直売、新しい販売方法の構築についても支援します。

さらに、マーケティングや商品開発のアイデア、販路拡大の方法から全般的な経営コンサルティングまで、各段階において専門的な知識や経験を持つ人材によるアドバイスが必要となります。そこで、愛西市では、行政内部や関係団体、事業実施主体などに対し、必要な人材確保や人材育成の機会を創出すると同時に、6次産業化サポートセンターを活用し、事業の実施と計画の認定が着実に実現できるよう進めていきます。

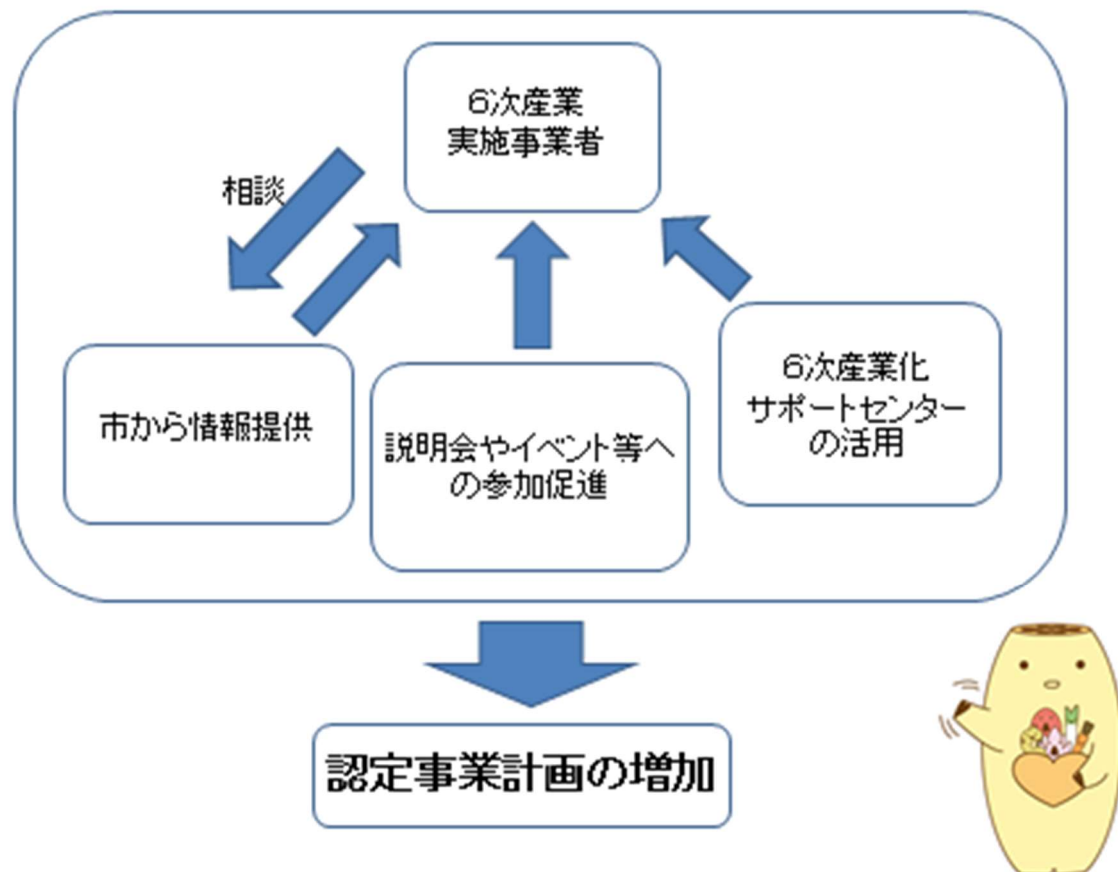
4. 愛西市6次産業化推進協議会

「愛西市6次産業化推進協議会」は、農林漁業、商工、金融などの関係機関で構成されるものであり、推進協議会で関係機関の知見やノウハウを活かして話し合いを行い、6次産業化等に関する戦略を策定します。

5. 成果目標

- ①農林漁業者及びその団体に対し、6次産業化の説明会等(新商品開発・販路拡大・人材育成支援等)への参加を促します。
- ②6次産業化事業の実施希望者からの相談を受け付け、愛知県6次産業化サポートセンター等の活用により、実施の検討につなげます。
- ③実施事業者を令和11年度までに1事業者以上育成し、認定事業計画を増やすことを成果目標に掲げます。

成果目標のイメージ…



6. 活用する農林水産物と加工・販売の方向性

多くの人が携わる農林水産物の活用は、地域農業全体の収入向上に繋がります。そのため、複数の農林漁業者で組織されている各種団体等が栽培しているものを、重点的に活用する農林水産物とします。具体的には、「れんこん」、「いちご」、「みつば」、「トマト」、「にんじん」、「ねぎ」など農林水産物の品種・品目ごとに組織される生産部会で栽培している野菜等を想定しており、新たな付加価値の創造と産地の活性化を目指して、加工品の開発に取り組みます。

また、その他に「愛西市の特産品」となることを目標として試験的に栽培するものや、ブランド化を目指すものについても重点的に活用します。前例がない分リスクも通常より高く、付加価値を付けるために手間隙がかかることが想定される農林水産物です。例えば、新品種の農林水産物や若手農林漁業者が熱意を持って挑戦するもの、他と差別化が図れるよう栽培方法を工夫・改善した農林水産物等がこれに該当します。

これらをはじめとする地域の農林水産物を活用した加工食品の開発に取り組み、市を代表する魅力的な商品が今後も生まれるよう、市としてバックアップしていきます。

7. 実施事業者への支援と将来像

地域に還元できる挑戦を応援できるよう、1次・2次・3次産業事業者の交流会や農林漁業者とその団体に対する6次産業化の各種説明会等（新商品開発・販路拡大・人材育成等）への参加を促します。その後、6次産業化サポートセンターの積極的な活用とともに、希望者へ各種情報提供をします。

さらに、本市は、国等の支援施策等も活用し、新商品の開発や加工施設・直売所の整備、商工業者とのマッチングによる販路や事業の拡大、各種商談会や物産展等への出品による販路開拓等を支援します。

そして将来的には、本市の農林漁業者の中から、地域の農林水産物を活用した本格的な6次産業化事業者を育成し、主体的な経営により事業が軌道に乗ることをサポートし、さらなる地域の活性化に繋げることを目指します。

愛西市6次産業化推進戦略

令和7年3月19日

〒496-8555

愛知県愛西市稲葉町米野308番地

愛西市産業建設部産業振興課

電 話 0567-55-7128

F A X 0567-26-1011